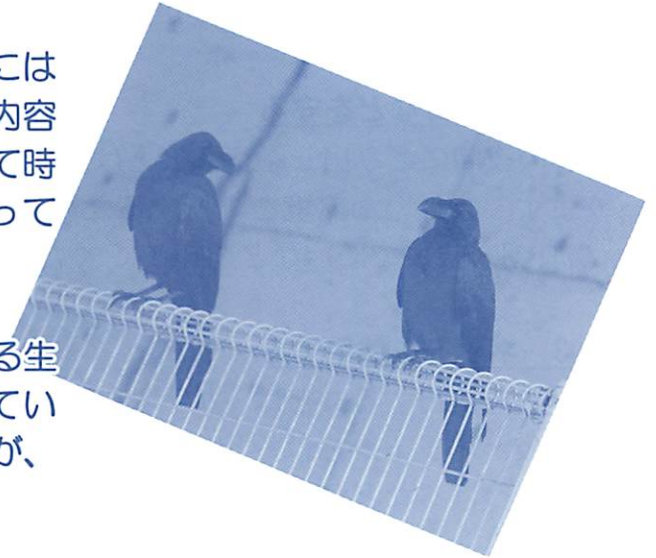


カラス

にご注意!!

毎年3月から7月ごろにかけて、市役所にはカラスの相談が多く寄せられます。その相談内容は、カラスによる生ごみの散らかしや、子育て時期のカラスからの攻撃などが主なものとなっています。

都会でカラスが増えた理由は、食べ物となる生ごみが豊富にあることなどによると言われています。市民の皆さまの一人ひとりの心くばりが、カラスによる被害の減少につながります。



カラスの巣やヒナに注意

カラスによる人への^{いかく}威嚇・攻撃は子育て時期（4月～6月）に集中しています。これは親鳥がヒナや卵を守るためにとる行動です。

- 被害を防ぐためには、巣の近くを通らないことが一番ですが、どうしても通らなければならない場合には、帽子をかぶったり傘をさすなどすると効果があります。
- ヒナが巣立つ際に、うまく飛べずに、地面をうろついている時が、あります。1～2日すれば、巣立ちますので、さわらないようにしてください。ヒナに近づくと、親鳥から^{いかく}威嚇・攻撃されることがあります。
- 巣を撤去するには、法律上、許可が必要になります。捕獲許可や業者の紹介、注意喚起のためのカラーコーン等の貸し出しを市役所農政課で行っていますので、ご相談ください。



回 覧 欄										
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※「回覧欄」は町会などで、回覧される場合にご利用ください。

カラスによるごみ被害をなくすために

方法1 生ごみを減らす工夫をする

生ごみは、カラスにとっては食料となります。食材はできるだけ使い切るようにして、生ごみが出ないように工夫しましょう。



方法2 収集日などを守る

前日の夜間にごみ出しを行うことは、カラス被害を受けやすくなります。きれいな環境を維持するためにも、収集日や収集時間（当日朝8時まで）などを守ってください。



方法3 ネットを使用する

ネットを使用することは、カラスを近づけない効果的な方法です。防鳥ネットなどを使用し、ごみ袋がネットからはみ出さないようきっちりと収め、ネットが風で飛ばされないようにおもりをつけるなど注意してください。

方法4 ごみ箱に入れる、ごみの周りをおおう

ごみ箱に入れたり、ごみの周りを板などで囲うと、カラスがつつけなくなり効果的です。ただし、ごみ箱に入れる場合は、必ず事前に市役所業務課（家庭ごみ案内ダイヤル：6374-9999）にご相談ください。



◀ ネットを使用して出されたごみ

カラスの相談窓口

- 子育て時期のカラスによる^{いかく}威嚇・攻撃、
巣の撤去などについての相談……………農政課 電話：6489-6542
- 市立公園内に巣がある場合 ……………公園課 電話：6489-6531
- カラスによるごみの散乱、
カラスの死骸の回収についての相談……………業務課（家庭ごみ案内ダイヤル：6374-9999）